

パラグラフチェックポイント

- 段落の最初は、一字下げしているか
- 1つの段落が長すぎないか
- 1つの段落に言いたいことが2つ以上入っていないか
- 段落の一文目にその段落で最も伝えたいことが書かれているか
- トピック文とサポート文、まとめ文の内容にズレがないか



パラグラフライティングは、伝える文章を書くための基本技術。日本語の段落とは異なるので、意識的に練習しよう！
志望理由書等、就活の場面で活かせるよ！

こんなときコラトリエで相談してみよう

- 文章をどのように組み立てればよいかわからない
→ 課題の内容を確認し、一緒にアウトラインを組み立てていきます
- 何を論じればよいかわからない
→ 書きたいことを整理し、一緒に「言いたいこと」を明確にしていきます

コラトリエで相談するには？

- ①コラトリエHP「学びの支援申込み」から事前に申し込む
→ 相談日時のお知らせメールが届きます
- ②直接コラトリエのアカデミックサポートデスクに行く
→ 当日対応も可能ですが、対応できないこともあるので、予約をおすすめします

問い合わせ先
東北学院大学ラーニング・commons「コラトリエ」
五橋：シュネーダー記念館3階 TEL：022-354-8151
土樋：ホーイ記念館2階 TEL：022-264-6570
E-mail：colatelier-support@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
HP：https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/colatelier/
X (旧Twitter)：@tgu_colatelier
Facebook：https://www.facebook.com/tgu.colatelier/



HPはこちらから

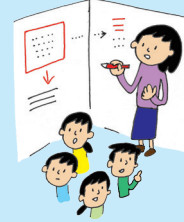
発行：2024年2月

ミニガイド

レポートの書き方の

コツ 文章構成編

提出する前に確認しよう！



ラーニング・commons「コラトリエ」

構成チェックポイント

- 序論・本論・結論の3部構成になっているか
- 問題提起が明確であるか
- 問題提起に対する答えが結論（または序論と結論）に書かれているか
- 結論で新たな事実を述べていないか
- (長いレポートの場合) 小見出しがついているか

レポートは骨組みが大事！
先にレポート全体の構成を決めると、書くべきことが見えてくるよ！



- ①パラグラフ・1トピック
1つの段落に話題は1つだけです。話題が変わる時は、段落を変えましょう。段落が長すぎる時は要注意！
- ②最も伝えたいことは段落の一文目に
段落の一文目に、その段落で最も伝えたいことや要点を端的に表しましょう。

パラグラフライティングのルール

パラグラフライティングとは、欧米で普及している論理的な文章の書き方のことである。日本語の「段落」の書き方は異なり、書く要素や順序が決まられている。パラグラフライティングでは、その段落で最も伝えたいことや要点を、はじめの一文に書くため、読み手はすばやく内容を理解することができる。そのため、レポートや論文だけでなく、企画書や報告書等様々な場面でパラグラフライティングが用いられている。

Point!
頭に浮かんだことをそのまま書くのではなく「伝えたいことを整理して文を組み立てよう！」

Point!
段落のまとめを一文で表し、省略されることもあります。トピック文と内容がずれないかを確認！

Point!
サポート文(説明・根拠・理由・例など) トピック文をサポートする文です。トピックに関する詳しい説明や具体的な根拠や例等を書いていきます。

Point!
トピック文(要点) 段落で最も伝えたいことや要点を一文で表し、詳細に書きすぎず端的に表すことがポイント！ 段落の一文目は一字下げすることも忘れずに！

パラグラフライティングの構成

1. はじめに
 - 近年、学校教員の長時間労働が大きな問題となっている。～
 - (略)～なぜ日本の学校教員は、このような長時間労働を強いられるのだろうか。本レポートでは、欧米諸国と日本の学校教員の労働環境を比較した上で、法制度の観点から長時間労働の要因について考察する。
2. 日本における学校教員の長時間労働の現状
 - 日本の学校教員の労働時間は、欧米諸国と比較しても非常に長い。経済協力開発機構(OECD)が2014年に公表した「国際教員指導環境調査」によれば、～(略)～つまり、日本の学校教員は、世界でも多忙であるといえる。

レポートの構成

- 序論 (10～15%)
 - ★問題提起
 - ★背景
 - 本論の予告
- 本論 (70～80%)
 - ①説明型、論述型 要点をいっつかに整理してまとめる
 - ②美型型 調査方法、分析結果、考察を書く
 - ③論証型 客観的な根拠に基づいて主張を導く
- 結論 (10～15%)
 - ◆まとめ

レポートの構成要素